



組合員の購読料は組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 阿部 力  
編集責任者 宮崎浩則

No. 1660 定価 15円

2005年

3月10日

国労加入を  
大胆に訴えよう

# 昇進事件和解から組織拡大へ

## 第九四回拡大地方委員会を開催

地方本部は、第九四回拡大地方委員会を二月一九日、都内で開催した。

浜中副委員長の司会で始まり、議長に鈴木委員(上野)、副議長に西尾委員(新橋)を選出、阿部委員長より、不採用事件の早期勝利解決は国労が団結し、政治の場での解決を迫り、理解者をどれだけ広められるかだ。

昨年、新橋昇進差別・指導車掌事件での東京地労委からの勝利命令、横浜人活事件の解決、配属事件の一括和解、鶴見駅の解雇・不当配転事件における懲戒解雇処分取り消し、現場復帰を勝ち取り、更に神奈川地労委でバツジ第四陣の勝利命令を勝ち取った。また、VSC事業所の縮小廃止により元職系統を中



心に発令がされた。現在は昇進差別事件の和解協議が始まり、今年の試験で実績を作ることが出来るかが重要な組織強化拡大運動に全組織を挙げて取

り組みたい。春闘五〇年の節目の闘い、戦後六〇年の節目の年に平和憲法を守る闘いに全力を上げる。との挨拶を受けた。

次に、笹原書記長による経過・方針の一括提案の後、五名から発言を受けた。

煙中健志(上野支部・鷲合駅) MV三〇の導入、窓口の廃止、助役の自動化と続き、労働環境の悪化と共に駅の利用者の方にも大変な影響を与えている。利用者の声を活かす運動として、駅全体のバリアフリーを含めた不便箇所の実態調査を行ない、区議会に陳情し成果を上げた。

戸塚秀一(横浜支部・横須賀駅連合)

昇進差別は正に向け、有資格者全員が受験することに決めた。会社の不誠実な行為に対し、神奈川で出された命令の上積み要求すべき。また自動昇格制度の導入を組合の姿勢として取り組んで。

野口喜伸(新橋支部・駒込駅)

JR不採用問題で、北部全労協・北部春闘共闘合同集会を五〇〇名の参加で成功させた。成功のため、実行委員会方式はとらない、闘う闘争団は入れない、鉄建公団訴訟には触れない、不一致や対立点は出さない、互いの批判はしないこととした。ある支部執行委員が鉄建公団訴訟オルグを北海道・九州で行なった。解決を阻害する反組織的行為。改札業務の委託化反対とあわせ、労働条件改善を求める闘いの検討を。

岡野嘉明(八王子支部・三鷹電車区分会) 配属差別七電車区事件は、和解が絵に書いて

た餅。他支社配属者について、希望者を早急に元職場に復帰させるよう働きかけを。昇進差別事件では和解の動きを待ち望んでいた。

一部闘争団は残念。国労の最大の武器は団結乗務員基地の再編提案は、運用効率の向上だけが目的。二度と不当な差別のないように。春闘と平和を守る運動は地域の仲間との連帯した運動の展開を。

小林裕二(相模支部・橋本駅分会)

物販について、支部は組合員一人ひとりまで情報や指示が徹底されているのか分会活動の改善について議論を深めた。購入目標を設けたら、支部内全ての分会役員・組合員が応えてくれ、役員自信にもつながった。反基地闘争は、キャンプ座間への米陸軍の第一司令部の移駐が大きな問題。行政も市民も行動に立ち上がっている。本日キャンプ座間司令部を人間の鎖で包囲する行動に取り組み。昨日は神奈川新聞朝刊に一人一〇〇〇円での意見

広告が取り組まれた。以上の発言に、鈴木法対部長・浜中副委員長より答弁がされた。

鈴木法対部長

東京七電車区事件・神奈川配属事件等の和解履行状況について、引き続き各支社に履行を迫る。支社またがりについても引き続き努力する。

濱中副委員長

MV三〇導入や助役自動化など利用者側にも大きな影響がある。利用者とスクラムを組んだ運動を創っていく必要がある。

改札の委託化関係で、会社は今の実状を理している。他企業の動き等もにらみ、政府の指導等とも合わせ、更に改善の努力をするよう要望する。

続いて、笹原書記長より、回答を含めた集約答弁が行われた。

・地域住民との連帯を含め運動を考える。

・反戦平和の問題について全力で闘う。

・昇進問題は、全組合員が被った差別なので是正を求めた闘いを展開するが、中労委の場では紛争事件の解決という捉え方であり、これからの攻防が難しい。昇進試験で、国労を辞めていく状況が創られたのは間違いない。怒りを含め和解し、国労が平等に扱われ、組織拡大に向けていく流れを創っていく。配属差別・VSCの廃止で元職種にきた仲間をしつかり支え職場の中心に座るために仕事に運動に取り組んでいく。本来まともな受かる試験であれば国労はきっちり受験する姿勢を前面に出す。試験の有資格者は全組合員が受験する体制を創っていききたい。

・春闘を闘う中で職場の切実な要求を迫りし、全職場で組織拡大の動きを創る。

・今委員会以降直ちに職場オルグに入る。

・アルバの問題は大きな運動の一つ。各支部各職場で春の物販強化の取り組みを。と集約を行い、全体の拍手で、当面する闘争方針を決定した。宮崎教宣部長のアピール提案採択の後、最後に阿部委員長の団結ガンバローで今後の取り組みに向けての決意を固めあった。

## 全分会長会議で意志統一

同日午後から、全分会長会議が同所で開催され、二〇〇名を超える分会長が結集した。

濱中副委員長の司会で始まり、阿部委員長の挨拶、アルバの島山さんからの要請を受けた



後、東日本本部・佐藤委員長から「労働委員会における和解の状況と組織強化・拡大に向けて」をテーマに講演を受け、「この和解協議により様々な状況が生まれるだろう。ま

ず、国労に行けば試験はいくらを受けても受からない、この障害は除かれていくであろうと思う。或いはこれを口実にして国労に來たなくても来れない人はなくなるだろう。この和解協議を成功させなければならぬ。和解もまた闘い。是非、今年の昇進試験は受験をして欲しい。機関としても十分に議論しながら全組合員が取り組んで頂きたい。何としても、多くの仲間たちを合格させたい。皆さんの真摯な議論をお願いする。組織拡大をこの流れで、この追い風を受けて皆でしっかりとやっていこう。昨年一〇月山形で、一月東京・中央、二月大宮、更に今年に入り盛岡で二名の仲間たちを国労に迎え入れてきた。今日の全分会長会議の中でこの流れをしっかりと大きくしていく、その意思統一を心からお願います」との講演を受けた。

次に、笹原書記長から、「当面する行動と取り組みについて」提起を行い、引き続き組織拡大を達成した甲府・大宮から報告を受けた。

甲府駅・橋本分会長

「国労に復帰した直接的な要因は、東労組への不満。日常の世話役活動或いは仲間を大事にする労働者の視点で行動する姿が加入に結びついた。潜在的な部分を引き出し第一、第三の仲間を迎えるべく奮闘する」

大宮支部・松井書記長、復帰者・鈴木さん「支部が発足して四年が経過して初めての組織拡大」と鈴木さんが紹介され、本人から「通対のアルバイトからJRの社員となった

# 石上・海老原執行委員が VSCから駅に配属

本年二月一日、一八年間本来業務を外されたベンディング職場の多くの仲間が、元職種の職場を中心に配属になった。職場の仲間などに歓迎されながら慣れない仕事に励んでいる。



大崎駅改札に立つ石上執行委員(左)と海老原執行委員(右)

真摯に話をしてくれる。自分が今抱えている問題が、国労に加入したことによって解決できるとは正直思っていない。でも、問題があった時に一つひとつ本人が納得できるように歩みが遅くても進んでいこうという姿勢に、私は非常に共感できる。これが労働組合として第一義としてあるべき姿だと思つ」との決意表明を受け、質疑となった。



新橋支部・相原さん(左)と海老原執行委員(右)が握手を交す。背景には「21回東京国労」の横断幕が見える。

二月四日第九九回青年部定期地方委員会を、本部・因泥青年部長を迎えて開催してきた。組織拡大に本腰！

## 組織拡大に本腰！

た。組織減少を抱えながらも、全体集会的に開催してきた。青年部にとって最大の取り組み課題である組織拡大に向け、国労加入のアピール行動を継続する事を再確認すると共に、今後の青年部運動の継承・発展に向け、取り組みの強化が急務であることが確認された。

八王子鉄道総合部から高崎機関区へ不当配転された木村さんも駆けつけ、不当配転から四年目になり一日も早く戻りたいと報告された。日本の平和と民主主義を守るため、国民春闘、反戦・平和と国鉄闘争を結合して創意工夫した職場・地域からの闘いと、他単組との交流や共同行動も強めながら、国鉄闘争をはじめとした闘いの前進に向け全力で取り組んでいくことを意思統一。最後に次期役員体制を確認、坂本新青年部長の団結ガンバローで終了してきた。



青年部役員の方たち

- 副青年部長 柴田 互
- 常任委員 野澤浩司
- 追伸：坂本青年部長は三月一日付で八年半ぶりに東京支店に転動しました。

新橋支部・相原さん 今回のVSC廃止による配属で、多くの人が元の職場に戻ったが、まだ残っている仲間の対策がこれからの課題。

和解を勝ち取るため、共に調査し、現実を相手に見せながら、闘って行きたい。反戦平和の運動や護憲の運動は取り組みを強化する。

よう、行動しよう、自分に家族にみんなのために」が選ばれた。最後に笹原書記長の「まとめ」、地方委員

れタイムに一喜一憂する場面が多く見られた。引き続きの開催に向けて参加者の増加を期待する。

## 第25回 地本スキー大会を開催



第二回スキー大会が二月二三日、新湯・越後湯沢の地に開催され、以下のよう結果となった。今大会は初日雨模様の悪天候に雨模様の悪天候にも拘わらず日頃の鍛錬を發揮するレストとなった。二日目は好天に恵ま



第25回スキー大会の様子

- 【結果】
- 回 転 A
  - 優勝 松浦誠典 横 浜 鶴見線営業所
  - 準優勝 古木哲雄 大 宮 的場駅
  - 第三位 森田哲男 上 野 新幹線二運
- 回 転 B
  - 優勝 橋川康宏 横 浜 東神奈川電車区
  - 準優勝 古川修一 宇 都 宮 大宮信号技セ
  - 第三位 大越 進 八 王 子 三鷹保技セ
- 大回 転 A
  - 優勝 古木哲雄 大 宮 的場駅
  - 準優勝 松本昭夫 大 宮 ユニオン建設
  - 第三位 松浦誠典 横 浜 鶴見線営業所
- 大回 転 B
  - 優勝 橋川康宏 横 浜 東神奈川電車区
  - 準優勝 古川修一 宇 都 宮 大宮信号技セ
  - 第三位 吉沢 毅 新 幹 線 東京第二運輸所
- 総合成績
  - 優勝 橋川康宏 横 浜 東神奈川電車区
  - 準優勝 古川修一 宇 都 宮 大宮信号技セ
  - 第三位 松浦誠典 横 浜 鶴見線営業所